

平成 19 年度
(第 4 期)

決算報告書

国立大学法人
長岡技術科学大学

平成19年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	4,150	4,150	—	
施設整備費補助金	0	31	31	(注1)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	45	61	16	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	29	29	—	
自己収入	1,473	1,456	△17	
授業料、入学金及び検定料収入	1,400	1,373	△27	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	0	—	—	
雑収入	73	83	10	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	821	1,092	271	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
目的積立金取崩	81	351	270	(注6)
計	6,599	7,170	571	
支出				
業務費	4,916	4,730	△186	
教育研究経費	4,916	4,730	△186	(注7)
診療経費	—	—	—	
一般管理費	788	730	△58	(注8)
施設整備費	29	60	31	(注9)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	45	60	15	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	821	1,146	325	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	6,599	6,726	127	
収入－支出	—	444	444	

○予算と決算の差異について

- (注1) 施設整備費補助金については、平成19年度補正予算により中越沖地震の災害復旧費の措置を受けたため、予算金額に比して決算金額が31百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金収入の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が16百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、授業料等の徴収者数が予定より減ったため、予算金額に比して決算金額が27百万円少額となっています。

- (注4) 雑収入については、主として特殊法人からの給付金により、予算金額に比して決算金額が10百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、予算段階では予定していなかった国、特殊法人及び民間企業からの受託研究の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が271百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では承認されていなかった18年度剰余金に加わったことにより、予算金額に比して決算金額が270百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費において、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が186百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費において、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が58百万円少額となっています。
- (注9) (注1) に示した理由により、予算金額に比して決算金額が31百万円多額となっています。
- (注10) (注2) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が15百万円多額となっています。
- (注11) (注5) に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が325百万円多額となっています。